

森理事長から感謝状

緑の募金
寄付行為
深甚なる敬意を表す

施設安全交通
協業組合



県交通安全施設業協同組合(白鳥和重理事長)は、県緑化推進委員会から感謝状の贈呈を27日受けた。同委員会の緑の募金への寄付行為に対するもので、当日は同委員会の理事長を務める森英介衆議院議員から、白鳥理事長に感謝状が手渡された。

感謝状は同委員会の27年度定時総会の席で、来賓として招かれた林和雄白子町長や関東森林管理局の高濱美樹千葉森林管理事務所長、県農林水産部の小倉明部長、白石勇一森林課長、並木康雄北部林業事務所長、武井良彦中部林業事務所長、朝

川康彦南部林業事務所長のほか、環境生活部、県土整備部、教育庁の関係室長らが見守る中、贈呈された。

議事に先立ち森理事長は、「日頃の活動に対する深甚なる敬意を表する」と感謝の意を示したあと、計8団体に感謝状を贈呈。感謝状を手にする県交通安全施設業協同組合の白鳥理事長は、同委員会の森理事長と共に記念の写真を撮影した。

同委員会は昭和25年の

創立以来、緑豊かな郷土づくりを目指して、「県民参加による緑化推進運動」を進めてきた。平成7年に制定された「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、緑の募金に積極的に取り組み、その成果を生かして幅広い事業を展開している。

県交通安全施設業協同組合は25社で構成し、安全、事故抑制という社会的使命の達成に向け組合員が一丸となり、各種事業活動を推進しているほか、ボランティアや寄付行為など社会貢献活動にも積極的に参加。今回の感謝状も、昨年11月をはじめとする緑の募金に対する寄付行為に対して贈られた。